

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	PLLポータブルラジオ	★お買い上げ日： 年 月 日
型 番	RAD-T570N	品 番 03-5550 保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お 客 様	ふりがな ★お名前	様
	★ご住所 〒	—
電話 ()		
修理メモ		
販 売 店	★住所 店名 電話	(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに
おいて無料修理をお約束するものです。

*この保証書によって保証書を発行している者(保
証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様
の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、
お買い上げの販売店または弊社修理ご相談セン
ターにお問い合わせください。

*お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証
期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動
のために記載内容を利用させていただく場合があ
りますので、ご了承ください。

○OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

電話
受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話
受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

PLLポータブルラジオ

型番：RAD-T570N 品番：03-5550



このたびは、AudioComm® PLLポータブルラジオを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

もくじ

免責事項	1	アラーム	9~10
安全上のご注意	1~3	スリープ	11
各部の名称	4	ホールド機能	11
電源について	5	外部機器を接続する	11
バックライトについて	5	イヤホンで聴くときは	12
現在の時刻を設定する	6	お手入れのしかた	12
ラジオを聴く	6~9	故障かなと思ったら	12
お気に入り登録	8	主な仕様	13
オートスキャン(自動一括登録)	8	保証書とアフターサービスについて	13
手動メモリー登録	9	保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品よりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

!**警告**

	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグを家庭用コンセントから抜く。乾電池も取り外す</p> <ul style="list-style-type: none">●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none">●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
	<p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none">●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		<p>乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
	<p>電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none">●手が届きにくい場所にあると、異常があつたときに対応が遅れるおそれがあります。●本機の電源を切つただけでは、完全に電力を遮断できません。		<p>表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●火災・感電の原因となります。
	<p>本機を家庭用電源で使うときは、必ず付属の電源コードを使う。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使わない</p> <ul style="list-style-type: none">●付属の電源コードは本製品専用です。●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。		<p>海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない</p> <ul style="list-style-type: none">●火災の原因となります。●この機器を使えるのは日本国内のみです。
	<p>分解、修理、改造しない</p> <ul style="list-style-type: none">●火災・感電の原因となります。		<p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none">●火災の原因となります。
	<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない</p> <ul style="list-style-type: none">●感電の原因となります。		<p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない</p> <ul style="list-style-type: none">●火災・感電の原因となります。
	<p>本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない</p> <ul style="list-style-type: none">●感電や故障の原因となります。		<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引つ張ったり、加熱したりしない</p> <ul style="list-style-type: none">●破損して火災・感電の原因となります。
			<p>本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない</p> <ul style="list-style-type: none">●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
			<p>電源コードを敷物などで覆わない</p> <ul style="list-style-type: none">●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

!**注意**

	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none">●感電の原因となることがあります。		<p>音量を上げすぎない</p> <ul style="list-style-type: none">●周囲の迷惑になるだけでなく、大きな音量で長時間聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

! 注意



乾電池に注意

乾電池は、極性表示(プラス+とマイナス-)の向きに注意し、表示どおり正しく入れる
●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない
●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



コンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。乾電池も取り外す
●感電の原因となることがあります。

移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す
●火災・液もれの原因となることがあります。



清掃する

電源プラグとコンセントの接続部を定期的に清掃する
●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると、自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

! 警告

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

! 注意

- ・+/-の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく



アンテナをたたむ

持ち運ぶときは、アンテナをたたむ
●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない
●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

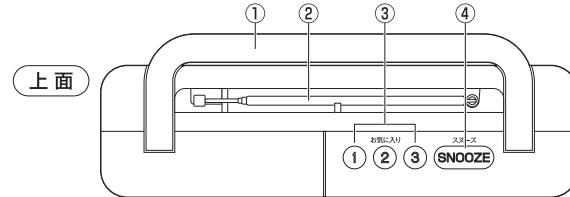
湿気やほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

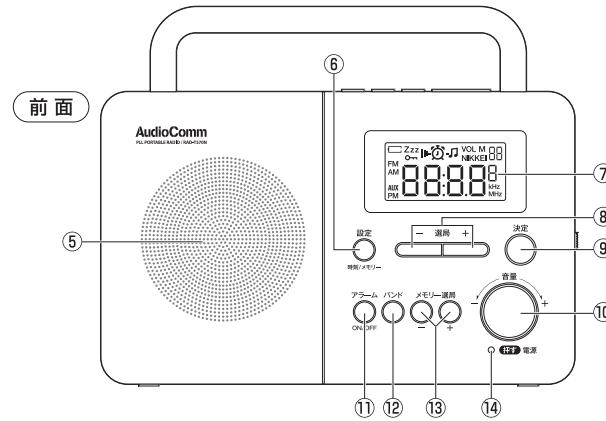
●必ずプラグを持って抜いてください。

電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない
●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

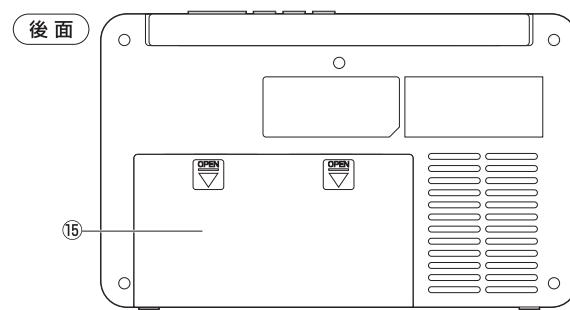
各部の名称



上面



前面

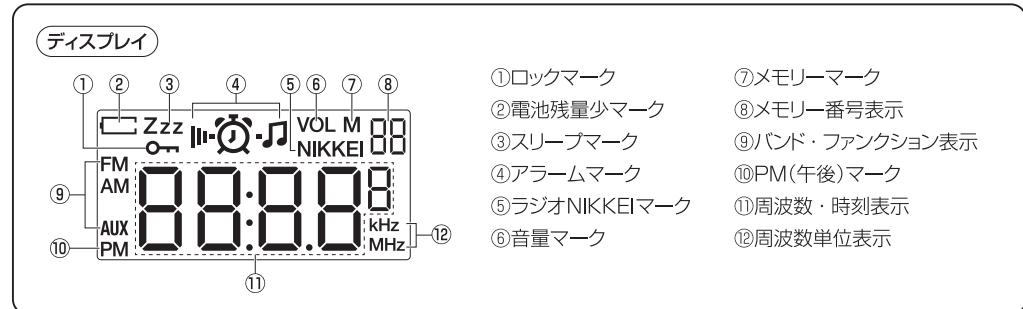


背面

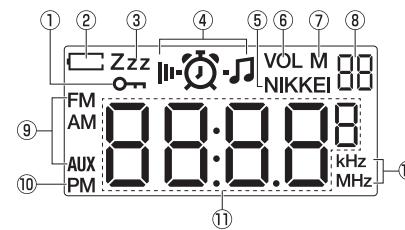
- ①キャリーハンドル
- ②ロッドアンテナ
- ③お気に入りボタン(1~3)
- ④スヌーズボタン
- ⑤スピーカー
- ⑥設定ボタン
- ⑦ディスプレイ
- ⑧選局ボタン(-/+)
- ⑨決定ボタン
- ⑩電源／音量ツマミ
- ⑪アラームボタン
- ⑫バンドボタン
- ⑬メモリー選局ボタン(-/+)
- ⑭電源ランプ
- ⑮電池カバー
- ⑯AC100V 電源ソケット
- ⑰ホールドスイッチ
- ⑱外部音声入力端子
- ⑲イヤホン端子

左側面

右側面



ディスプレイ



- ①ロックマーク
- ②電池残量少マーク
- ③スリープマーク
- ④アラームマーク
- ⑤ラジオNIKKEIマーク
- ⑥音量マーク
- ⑦メモリーマーク
- ⑧メモリー番号表示
- ⑨バンド・ファンクション表示
- ⑩PM(午後)マーク
- ⑪周波数・時刻表示
- ⑫周波数単位表示

電源について

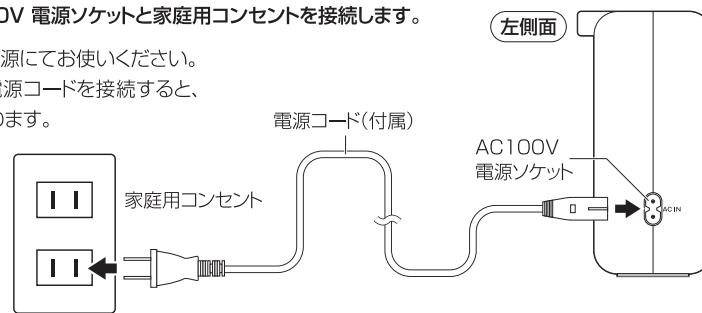


- 電源コードを抜き差したり、乾電池を出し入れするときは、事前に必ず電源を切ってください。

家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本機のAC100V 電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

- 長時間使用するときは、家庭用電源にてお使いください。
- 乾電池が入っているときでも、電源コードを接続すると、自動的に家庭用電源に切り換わります。

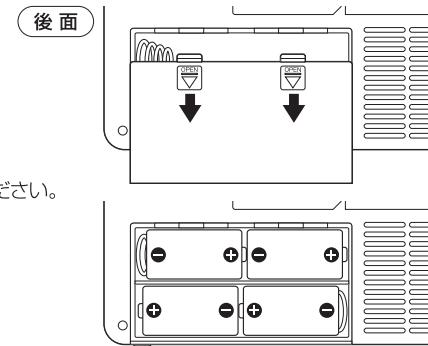


重要

付属の電源コードは本製品専用です。家庭用電源でご使用の際は、必ず付属の電源コードをお使いください。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使わないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池で使う場合

- 1 電池カバーの団を押しながら下にスライドさせ、電池カバーを取り外します。



- 2 単1形乾電池×4本(別売)を、①と②の向きに注意しながら正しく入れます。

- アルカリ乾電池の使用をおすすめします。
- コイルバネのあるほうが①です。②側から先に入れてください。

- 3 電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。

ヒントとご注意

- 乾電池にて使用中に電池残量が少なくなると、ディスプレイに電池残量少マーク(□)が点滅します。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 本機では、最後に聴いていた放送局や音量レベルを保持し、次に電源を入れたときはその状態で起動します。
- アラーム設定やメモリー登録の内容は、電源供給が切れた場合でも保持しますが、設定が変わった場合はあらためて設定・登録し直してください。
- 家庭用電源、乾電池ともに電源供給が切れた状態でも、しばらくはディスプレイの時刻表示が続きますが、乾電池を交換するときは早めに行なってください(時刻がリセットされた場合は設定し直してください)。

バックライトについて

電源のオン／オフに関係なく、任意のボタンを押すと、バックライトが点灯します(電源／音量ツマミについては、バックライト点灯と同時に、電源入／切の動作になります)。何も操作しない状態が約5秒間続くと、バックライトは消灯します。

現在の時刻を設定する

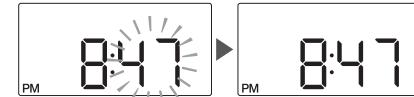
- 1 電源が切れている状態で、設定ボタンを長押しします。
●「時」表示が点滅します。



- 2 選局ボタン(-/+)を押して「時」を選び、決定ボタンを押します。
●本機の時刻は12時間表示形式です。午後の時間帯は「PM」が表示されます。



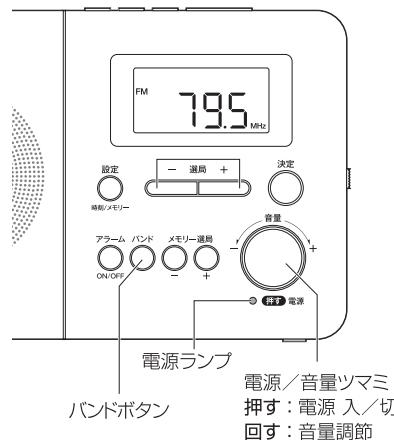
- 3 選局ボタン(-/+)を押して「分」を選び、決定ボタンを押します。
●決定ボタンを押すと、点滅が止まって設定が確定します。



ご注意

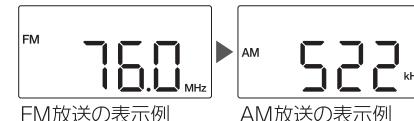
- 電源が切れているときに操作してください。
- アラームが設定されているとき(アラームマークが表示されているとき)は、現在の時刻を設定することができません。アラームボタンを押し、アラームマークを消してから操作してください。
- 何も操作しない時間が約5秒間続くと設定操作がキャンセルされます。もう一度最初からやり直してください。

ラジオを聴く

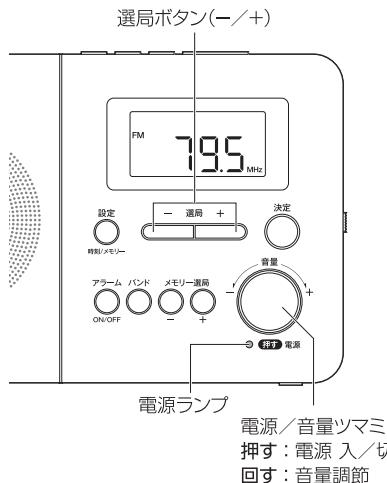


- 1 電源／音量ツマミを押して、電源を入れます。
●本機は電源／音量ツマミを回すのではなく押すことで、電源の入／切ができます。
●バックライトが点灯し、「On」表示に続いて電源が入ります。
●電源が入っているときは、電源ランプが点灯します。

- 2 バンドボタンを押して、バンドを選びます。
●バンドボタンを押すたびに、「FM」→「AM」→「NIKKEI」→「AUX」(外部音声入力)の順で切り換わります(ボタンを押してから実際にバンドが切り換わるまでに、時間がかかることがあります)。



ラジオを聴く(つづき)

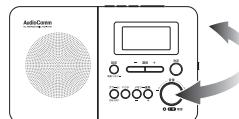


- 3 選局ボタン(-/+)**を押して、聴きたい放送局を選びます。
- FM放送では0.1MHz単位、AM放送では9kHz単位で変化します。
 - 選局ボタン(-/+)
を約1秒間長押して指を離すと、周波数が自動で送られ、最初に受信できた放送局で止まります。 - 受信中は周波数と現在時刻を約5秒ごとに交互に表示します（ラジオNIKKEIでは、プリセット番号、周波数、現在時刻の順で表示が変化します）。
- 4 電源/音量ツマミ**を回して、音量を調節します。
- 音量の上げすぎにご注意ください。
 - 音量表示は約5秒間表示されます。
- 5 終了するときは電源/音量ツマミを押します。**
- 「OFF」と表示され、バックライトと電源ランプが消灯し、電源が切れます（時刻表示に戻ります）。

ヒントとご注意 より良く受信するために

●AM放送の場合

本機にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは本機を離してお使いください。

ラジオNIKKEIについて

- バンドボタンを押して「NIKKEI」を選ぶと、ラジオNIKKEIの短波放送を聴くことができます。選局ボタン(-/+)
を押すたびに、「1-1」から順にプリセット番号が送られますので、右表を参照して受信可能な番号を選んでください。
- ラジオNIKKEIの受信可能な周波数は、時間帯などにより異なります。詳しくはラジオNIKKEIのウェブサイト <https://www.radionikkei.jp> をご確認ください。
- ※ラジオNIKKEI以外の短波放送は受信できません。

第1放送	1-1	3.925MHz
第2放送	1-2	6.055MHz
	1-3	9.595MHz
	2-1	3.945MHz
	2-2	6.115MHz
	2-3	9.760MHz

ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

お気に入り登録

よく聴く放送局を登録し、ワンタッチで選局する



お気に入りボタン(1~3)によく聴く放送局を登録すると、ボタンを押すだけで簡単に選局できるようになります。AM放送、FM放送、ラジオNIKKEIで、それぞれ3つの放送局を登録できます。

登録のしかた

登録したい放送局を受信した状態で、お気に入りボタン(1~3のいずれか)を長押しします。

- 登録が完了すると、電子音が鳴り、ディスプレイ右上にメモリーマークとメモリーパン号が一時的に表示されます。

選局のしかた

バンドを選んだ後、聴きたい放送局に応じてお気に入りボタンを押します。

- 登録された放送局を受信します。ディスプレイ右上には、メモリーマークとメモリーパン号が一時的に表示されます。



ヒント

- 各ボタンへの登録内容を消去することはできませんが、上記の操作または手動メモリ登録により、上書きすることは可能です。

オートスキャン(自動一括登録)

受信可能な放送局を一括でメモリー登録する



オートスキャンをすると、受信可能な放送局を一括して登録することができます(AM放送、FM放送でそれぞれ最大22局まで登録可能)。

登録のしかた

バンドを選び、電子音が鳴るまで設定ボタンを長押しします。

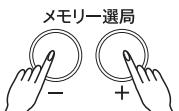
- オートスキャンが始まると、メモリーマークとメモリーパン号が点滅しながら自動で周波数が送られ、受信可能な放送局を順次登録ていきます。受信可能な放送局が見つかると、一時的にラジオ音声が聞こえます(メモリーパン号は4から登録されています)。



- スキャンが終わると、電子音が鳴り、いちばん最初に登録された放送局(メモリーパン号: 4)を受信します。

選局のしかた

バンドを選んだ後、メモリー選局ボタン(-/+)を押して選局します。



- 周波数とメモリーパン号を確認しながら選局してください。

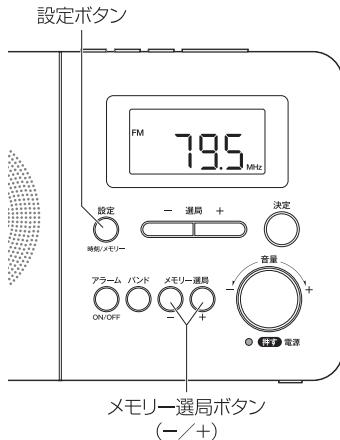
- すでにメモリー登録をしている場合、オートスキャンを実行すると、登録内容が消去され、最初から登録し直されます。また、手動でメモリー登録した内容も上書きされます。

ラジオを聴く(つづき)

手動メモリー登録

放送局を手動でメモリー登録する

任意の放送局を手動でメモリー登録します(AM放送、FM放送でそれぞれ最大25局まで登録可能)。

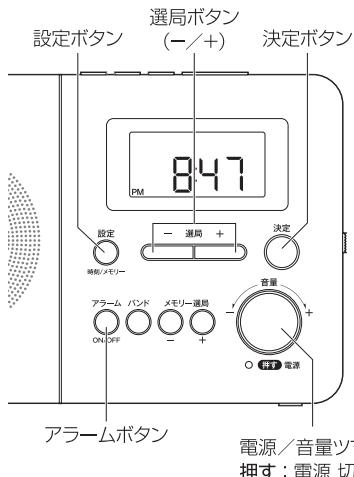


ヒントとご注意

- メモリー番号は、AM放送、FM放送それぞれ1~25に登録できます。
- メモリー番号のうち1~3に登録すると、お気に入りボタン(1~3)の内容が上書きされます。
- 登録した内容を消去することはできませんが、上記の操作により上書きすることは可能です。
- 何も操作しない時間が約5秒間続くと、登録操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。
- オートスキャンを実行すると、登録内容が消去され、最初から登録し直されます。

アラーム

本機では、電子音またはラジオ音声を選んで、アラーム設定ができます。



設定のしかた

電源が切れているときに操作してください。また、アラーム音にラジオ音声を使うときは、あらかじめ起動時に聴きたい放送局を受信した状態で電源を切ってから、操作してください。

1 電源が切れている状態で、アラームボタンを押します。

- アラームマークとアラーム起動時刻が表示され、アラーム起動時刻はすぐに現在の時刻表示に戻ります。

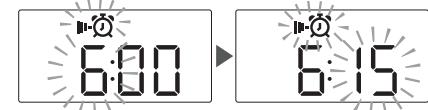


2 設定ボタンを長押しします。

- アラームマークと起動時刻の「時」が点滅します。

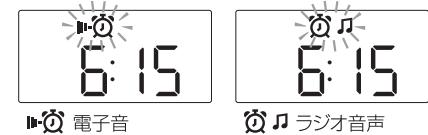


- 3 選局ボタン(-/+を押して設定したい「時」を選び、決定ボタンを押します。続いて選局ボタン(-/+を押して設定したい「分」を選び、決定ボタンを押します。



- 4 選局ボタン(-/+を押してアラーム音を選び、決定ボタンを押すと設定が完了します。

- アラーム音は電子音とラジオ音声のいずれかを選べます。
- 設定が完了すると、アラームマークの点滅が止まり、現在の時刻表示に戻ります。



ヒントとご注意

- アラーム設定がオンのときは、ディスプレイにアラームマークが表示されます。アラーム設定を解除するときは、アラームボタンを押してアラームマークを消してください(電源が切れているときのみ操作できます)。
- 何も操作しない時間が4~5秒続くと、設定操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。
- アラーム音としてラジオ音声を選び、起動時刻にラジオを聴いていたときは、電子音での起動となります。
- アラームの音量は調節できません。

アラームが鳴ったら

●アラームを止めるには

- 電源／音量ツマミを押すと、アラームが止まり電源が切れます。ただしこのままの状態では、翌日の同じ時刻に再びアラームが起動します。設定自体を解除するには、電源が切れているときにアラームボタンを押して、アラームマークを消してください。

スヌーズ



●スヌーズ機能について

- ・アラーム起動中にスヌーズボタンを押すと、一時的にアラーム音が中断し、そのままにすると約9分後に再度起動します。
- ・スヌーズ中はアラームマークが点滅します。
- ・スヌーズ中にアラームを解除するには、アラームボタンを押してアラームマークを消してください。

スリープ

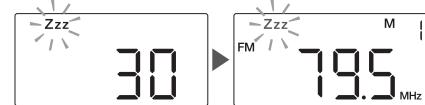
自動で電源が切れるまでの時間を設定します。90分、60分、30分、15分から選べます。電源が切れているときに操作してください。



- ① 電源が切れている状態で、電源／音量ツマミを長押しします。
 - スリープマークが点滅し、「90」が表示されたら、指を離します。
- ② 電源／音量ツマミを数回押し、希望の時間が表示されたら押すのをやめて、しばらくそのままにします。
 - 「On」と表示され、電源があります。スリープ設定が有効なときは、電源を入れた後もスリープマークが点滅します。



長押しした後、数回押す



ヒント

- スリープ設定を解除するときは、電源を切ってください。

ホールド機能



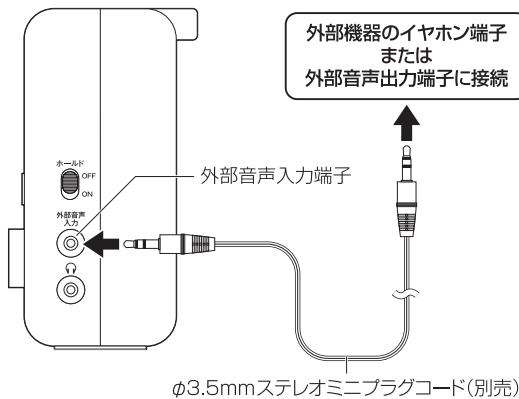
右側面のホールドスイッチを「ON」に合わせると、ボタンやツマミの操作ができなくなり、誤操作防止に役立ちます。



- ホールド機能が有効なときは、ホールドマークが点滅します。
- 解除するときは「OFF」に合わせてください。

外部機器を接続する

本機は外部機器(ポータブルCDプレーヤーなど)のスピーカーとして使うことができます。本機スピーカーからの出力音声はモノラルとなります。

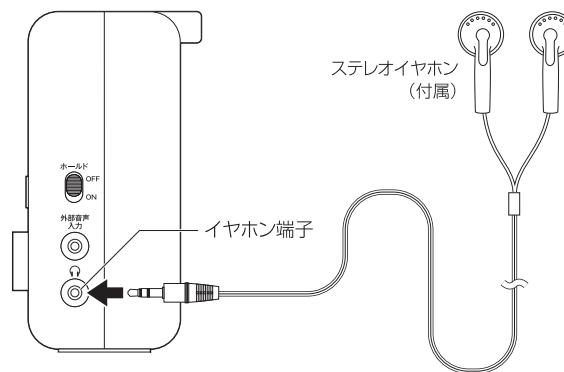


- ① 左図を参照して接続した後、双方の機器の電源を入れます。
 - コードの接続及び解除は、必ず双方の電源が切れた状態で行なってください。
- ② バンドボタンを数回押して「AUX」を選び、その後、外部機器側で再生などの操作をします。
 - 音量調節は本機と外部機器のどちらでも可能ですが、本機側で音量を上げすぎると、接続解除後に本機を使うとき、突然大きな音が出る場合がありますので十分にご注意ください。
- ③ 使い終わったら、双方の電源を切った後、接続を解除します。



イヤホンで聴くときは

イヤホンで聴くときは、別売のステレオイヤホン(Φ3.5mmステレオミニプラグ)をイヤホン端子につないでください。



- イヤホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
- FMステレオ放送を受信しているときや、外部機器接続にてステレオ音源を再生しているときは、イヤホンでステレオ音声を楽しむことができます。
- 片耳イヤホンなど、モノラルミニプラグのイヤホンは使えません。必ずステレオミニプラグのイヤホンをお使いください。

お手入れのしかた

必ず事前に電源を切ってください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナーやベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

故障かなと思ったら

症 状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">●電源コードが正しく接続されていますか。接続部がゆるんでいませんか。●本機の付属品ではない電源コードを使用していませんか。●乾電池が正しく入っていますか。乾電池が消耗していませんか。●ホールド機能が有効になっていませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">●音量が最小になっていますか。●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。●「AUX」が選ばれていませんか。
雑音が入る、音が震える	<ul style="list-style-type: none">●電波の弱い場所で使用していませんか。●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話を本機から離してください)。●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
オートスキャンがうまくできない	<ul style="list-style-type: none">●電波の弱い場所で使用していませんか。窓際などできるだけ良好な環境下でお試しください。
途中で電源が切れる	<ul style="list-style-type: none">●乾電池が消耗していませんか。●スリープが設定されていませんか。
ディスプレイ表示が暗い、見づらい	<ul style="list-style-type: none">●乾電池の消耗が考えられます。新しい乾電池と交換してください。

主な仕様

電 源	AC100V 50/60Hz DC6V(単1形乾電池×4本 別売)
消費電力	5W
最大出力	0.95W
受信周波数	AM : 522~1710kHz 9kHzステップ FM : 76~108MHz 0.1MHzステップ (FM補完放送「ワイドFM」対応) ラジオNIKKEI(第1) : 3.925MHz、6.055MHz、9.595MHz ラジオNIKKEI(第2) : 3.945MHz、6.115MHz、9.760MHz
アンテナ	AM : 内蔵フェライトバーアンテナ FM・ラジオNIKKEI : ロッドアンテナ
スピーカー	口径7.6cm×1(4Ω)
外部音声入力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
イヤホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
電池持続時間の目安 (スピーカー出力時)	AM : 約145時間 FM : 約139時間 ラジオNIKKEI : 約145時間
時計精度	月差約30秒以内
外形寸法	幅238×高さ149×奥行66mm(突起物含まず)
質 量	約722g(乾電池含まず)
付 属 品	専用電源コード、保証書付取扱説明書

※外観及び仕様は予告なく変更することがあります。

※電池持続時間の目安は、アルカリ乾電池新品使用時。JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。